

社会科経営

1 研究主題

自ら課題をもち、やる気をもって追究する生徒の育成

2 主題設定の理由

めまぐるしく変化する現在の社会にあっては、確固たる自分の考えをもち、社会に参画できる人間を育てていくことが求められる。そのためには知識や概念の習得に加え、必要な資料を選択活用し、社会事象の意味や特色を解釈したり考えを論述したりする学習の場が必要である。

本校では、課題解決型の学習を計画的に実施するという昨年度までの取組により、「社会科の学力が身に付いている」と自己評価する生徒の割合が 90 %を超えるなど一定の成果をあげることができた。しかし、依然として社会科に対して「不得意」「楽しくない」と否定的にとらえる生徒が相当数存在しており、生徒が「楽しい」と感じることでできる授業づくりの必要性を感じる。また、「分かる」ことが「楽しい」ことにつながるのであり、今後も基礎的な知識の定着や理解力の向上を図る必要がある。

課題を自らの問題として主体的にとらえ、意欲的に社会的事象とかかわり追究するような学習を展開することにより、生徒のやる気が高まり基礎的・基本的な力も定着するものと考え、本主題を設定した。

3 経営の重点と具体的施策

(1) 平成19年度の成果と課題から

- ① 社会的事象についての関心を高め、進んで追究するための学習展開の工夫
 - ・生徒の関心を高める導入や教材の工夫
 - ・社会的な事象と自らの生活とのかかわりを実感できるような学習指導を通して、課題の追究や多面的な考察の必然性や必要性を高め、その結果として知識が定着するような学習展開
- ② 基礎的な知識の定着と理解力の向上
 - ・本時のポイントを確認できるような終末の工夫
 - ・分野に応じた調べ方やまとめ方を身に付けさせるための学習の充実
- ③ 資料から必要な情報を読み取り、それを自分なりの言葉で表現する能力の育成
 - ・資料の見方や読み取り方を習得する学習の、計画的な実施
 - ・分かったことや考えを、根拠を示しながら自分なりの言葉でまとめる学習活動の継続的な設定

(2) 個に応じた指導の工夫について

- ① 一人一人の興味・関心、及び習熟度の違いに応じた指導方法の工夫
 - ・生徒が興味・関心をもって取り組めるような学習課題の設定
 - ・課題別学習やコース別学習など、生徒の特性に応じた多様な学習展開の工夫
 - ・共に学び合う場の設定や工夫

(3) 評価を生かした指導の工夫のために

- ① 見通しをもって学習に取り組み、自らの努力を認めることのできる自己評価能力の育成
 - ・単元の指導計画の重視（單元ごとの基礎・基本の明確化と指導・評価の計画的な実践）
 - ・学習の見通しをもち主体的に学ぶための、シラバスを活用した導入時のガイダンスの工夫
 - ・生徒が自分の課題やめあての達成状況を確認できるような自己評価の工夫